別記様式１（第５条関係）

（表）

|  |
| --- |
| 工場・危険物調書 |
| 建築主の氏名 |  | 工事種別 | 新築　増築　改築　移転用途変更　大規模の修繕大規模の模様替 |
| 建築位置 |  |  |
| 用途地域 |  | 防火地域 | 防火　準防火　指定なし |
| 工　　　場　　　調　　　書 |
|  | 申請部分 | 申請以外の部分 | 合計 | 作　 業　 場　 の　 面　 積 |
| 敷地面積 |  |  |  | 申請部分 | 申請以外の部分 | 合計 |
| 建築面積 |  |  |  |  |  |  |
| 延べ面積 |  |  |  |  |  |  |
| 業種 |  | 原料名 |  | 製品名 |  |
| 申請部分の用途 |  |  |  |  |  |
| 作業方法 |  |
| 危険物 | イ　裏面の危険物調書による　　　　ロ　なし |
|  |  | 機　　　械　　　の　　　種　　　類 | 台数 | 出　力（KW） |
| 設　　　備　　　の　　　概　　　要 | 新　　　設 |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
| 既　　　設 |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |
|  | 合計 |  |  |  |

（裏）

|  |
| --- |
| 危　　険　　物　　調　　書 |
| 事業内容 |  |  |  | 敷地面積 |  |
| 建築物の延べ面積 |  | 貯蔵場の延べ面積 |  | 処理場の延べ面積 |  |
|  | 危　　険　　物　　の　　種　　類　　等 | 危険物の貯蔵量及び処理量 |
|  | 種類 | 類別・品名 | 性質 | 用途 | 最大貯蔵量 | 係数 | 最大処理量 | 係数 |
| 地　　　　　　　上 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 地　　　　　　　下 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 危険物の貯蔵・処理方法その他の参考となる事項　　 |  |  |  |  |  |  |  |

　注１　工作物の場合は、「建築主」を「築造主」と、「建築位置」を「築造位置」と、「建築面積」を「築造面積」と読み替えて記入すること。

　　２　「業種」の欄には、工場業態が分かるように記入すること。

　　３　「原料名」の欄には、工場に搬入する原料の品名を記入すること。

　　４　「作業方法」の欄には、原料から製品に至るまでの作業の流れの図解を記入すること（機械の種類、原料名及び製品名を付記すること。）。

　　５　「危険物の種類等」の欄には、建築基準法施行令（昭和25年政令第338号。以下「政令」という。）第116条第１項の表、消防法（昭和23年法律第186号）別表及び危険物の規制に関する政令（昭和34年政令第306号）別表第３に掲げる名称を記入すること。

　　６　「危険物の貯蔵量及び処理量」の「係数」の欄には、準住居地域、商業地域又は準工業地域内に建築又は築造する場合に限り、政令第130条の９第１項の表の用途地域の欄に定める数量を１として、それに対する比を記入すること。

　　７　単位は、メートル法によること。